

# 全般季節予報支援資料 1か月予報 2014年1月17日

予報期間：1月18日～2月17日 気象庁地球環境・海洋部

## 全般季節予報

### (1) 特に注意を要する事項

沖縄・奄美では、期間のはじめは、気温がかなり低くなる可能性があります。

### (2) 出現の可能性が最も大きい天候

北日本日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い見込みです。北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

### (3) 確率

1か月	気温(%)	1か月	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
	低並高		少並多	少並多	少並多
北日本	30:40:30	北日本日本海側 北日本太平洋側	20:40:40 30:40:30	40:40:20 30:40:30	20:40:40
東日本	40:40:20	東日本日本海側 東日本太平洋側	20:30:50 40:30:30	40:40:20 20:40:40	20:40:40
西日本	50:30:20	西日本日本海側 西日本太平洋側	20:30:50 40:30:30	40:40:20 20:40:40	20:40:40
沖縄・奄美	40:40:20	沖縄・奄美	40:40:20	20:40:40	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3～4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	20:40:40	40:30:30	40:30:30
東日本	40:40:20	40:30:30	40:40:20
西日本	40:40:20	40:40:20	40:40:20
沖縄・奄美	70:20:10	30:40:30	30:40:30

## 最近1週間の天候経過

最近1週間(1/11～1/16)は、シベリア高気圧が日本付近に張り出し、全国的に寒気が流れ込んだ。期間前半に、西高東低の冬型の気圧配置になったため、日本海側では曇りや雪または雨の日がやや多かった。また、九州南部、奄美は南からの湿った気流の影響をうけたため、曇りや雨の日が多かった。それ以外の地方は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

## 予報資料の解釈

### ● 1か月(1/18～2/14)

- ・ 500hPa 高度は、中国付近で正偏差、日本付近では負偏差。上空の偏西風が中国付近で北に蛇行、日本付近で南に蛇行し、日本付近は北から寒気の影響を受けやすい予想。

### ● 1 週目 (1/18~1/24)

- ・ 500hPa 高度は、ヨーロッパ西部の負偏差、アフリカ北部の正偏差、中東の負偏差、中国付近の正偏差、本州南方の負偏差、といった亜熱帯ジェット沿いの波列パターンがみられる。
- ・ 海面気圧は、シベリア高気圧が中国南部から本州南方で強い予想。西高東低の冬型の気圧配置は本州付近では平常程度（北日本ではやや弱く、東・西日本でやや強い）。
- ・ 下層気温は、中国南部から本州南方で明瞭な負偏差。
- ・ 週間予報資料によれば、気温は、本州付近で平常並か低く、沖縄・奄美ではかなり低い。北日本と、東・西日本日本海側は、寒気や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多い。東・西日本太平洋側は、高気圧に覆われて晴れる日が多いが、西日本では寒気の影響で曇る所がある。沖縄・奄美は、寒気や気圧の谷の影響で雲が広がりやすいが、降水量は平常並か少ない。

#### ▶ 想定される天候

- ・ 北・東・西日本日本海側では、寒気（冬型の気圧配置）や気圧の谷の影響により、平常と同様に曇りや雪または雨の日が多い。
- ・ 北・東・西日本太平洋側では、平常と同様に晴れの日が多い
- ・ 沖縄・奄美では、高気圧に覆われる時期もあり、平常に比べ曇りや雨の日が少ない。

### ● 2 週目 (1/25~1/31)

- ・ 500hPa 高度は、ヨーロッパ西部の負偏差、ロシア西部の正偏差、中国東北区の負偏差、といった寒帯前線ジェット沿いの波列パターンが明瞭。また、1 週目に引き続き、亜熱帯ジェット沿いの波列パターンも明瞭。日本付近は負偏差の予想。日本東方は正偏差だが、スプレッドが大きい。
- ・ アリュージョン低気圧は平常よりも日本に近い位置で強い。シベリア高気圧は平常程度。
- ・ 下層気温は、本州付近でやや明瞭な負偏差、沖縄・奄美は弱い負偏差。
- ・ 北日本は寒気や気圧の谷の影響を受けやすい。東・西日本は冬型の気圧配置で寒気の影響を受けやすい。沖縄・奄美は、寒気の影響は平常程度。

#### ▶ 想定される天候

- ・ 北日本日本海側では、寒気や気圧の谷の影響により、平常に比べ曇りや雪の日が多い。
- ・ 北日本太平洋側では、気圧の谷の影響により、平常に比べ晴れの日が少ない。
- ・ 東日本日本海側では、寒気の影響により、平常と同様に曇りや雪または雨の日が多い。
- ・ 西日本日本海側では、寒気の影響により、平常に比べ曇りや雪または雨の日が多い。
- ・ 東日本太平洋側では、平常と同様に晴れの日が多い。
- ・ 西日本太平洋側では、平常に比べ晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により、平常と同様に曇りや雨の日が多い。

### ● 3~4 週目 (2/1~2/14)

- ・ 1 週目は太平洋、2 週目は大西洋にあった MJ0 の対流活発位相が、インド洋東部から西部太平洋熱帯域に到達する。この傾向は、ほぼ、どのメンバーにもみられる。
- ・ 1、2 週目は、インド洋東部から西部太平洋熱帯域の対流活動は、ほぼ平常程度。海面水温偏差が初期値から大幅に変化する可能性は小さいとみる（予測の海面水温初期値固定の影響は、今回はそれほど大きくないとみる）。
- ・ インド洋東部から西部太平洋熱帯域の対流活発に対応し、亜熱帯ジェットは中国付近で北に蛇行、日本付近で南に蛇行する予想。
- ・ 500hPa 高度は、2 週目同様、寒帯前線ジェット沿いの波列パターンを予想しているものが多いが、位相や振幅にバラツキが大きい。日本付近はやや明瞭な負偏差の予想だが、スプレッドも大きい。

- ・ 下層気温は、東・西日本を中心に負偏差だが、500hPa 高度のスプレッドを考慮し、若干割り引く。

➤ 想定される天候

- ・ 北日本日本海側では、寒気や気圧の谷の影響により、平年と同様に曇りや雪の日が多い。
- ・ 東・西日本日本海側では、寒気の影響により、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い。
- ・ 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により、平年と同様に曇りや雨の日が多い。

気象庁ホームページ

○季節予報

[http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001\\_00.html](http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html)

○「向こう1か月の天候の見通し（1か月予報の解説）」

<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf1/001.pdf>

も参照してください。

---

この資料は、気象事業者等が気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。